

第5回日本共産党綱領 学習会開催

鹿沼東部支部、鹿沼市東部後援会では8月1日、共催で第5回党綱領学習会を開始しました。

第5回講義は、志位委員長の「地底の歌」（1961年の指名解雇をめぐる国民的な大闘争となった三井三池闘争の歌、荒木栄作詞・作曲）で幕を開けました。

志位さんはこの歌と関連づけて、現在の日本国内の階級的な支配勢力の中心を「大企業・財界」とのべ、その意味を説明しました。

「大企業・財界の横暴な支配のもと、国民の生活と権利にかかわる多くの分野で、ヨーロッパなどで常識となっているルールがいまだに確立していないことは、日本社会の重大な弱点になっている」と綱領にそって志位さんは話しました。

後半では、日本経済に対する「アメリカの介入」について、エネルギー支配、食料支配、金融支配などを紹介しました。では、日本とヨーロッパの違いはどこからか、人民のたたかいがルールをつくってきた。日本は立ち遅れている、しかし、ルールが全くないわけではない。「整理解雇4条件、憲法の権利」がある事に触れ、力をあわせてルールを勝ち取ろうと語りました。

最後に、「労働運動の社会的地位はヨーロッパに比べ遅れている。しかし、進んでいるものがあります。それは自主独立の日本共産党です。この党を強く大きくすることこそ、資本主義を乗り越え、未来へ前進する大きな力となります。強い大きな党をつくろう」と呼びかけました。

参加者の声

仕事をしていて、首になり
そんなことがある。労働者の
権利を守る社会にしくは

現在時給は800円台
だ、最低賃金が1000
円になればありがたい

日本と違い、ヨーロ
ッパは革命を通じ権利
を勝ち取ってきた事が
良くわかった。

憲法を暮らしに生か
すことの重要性を再認
識した。

綱領講座は、近代日本史、世界史の学習会のような。党
の歴史、人民のたたかいで現在がある事が良くわかった。

高卒男女の生涯賃金比較で、女性は男性より7580万
円も少ないことに驚いた。ベンツが10台買える金額だ。

労働時間がドイツやフランスと比べ年間500時間多い
ことは、40年働くと2万時間になり、2年半分に驚いた

第79回映画鑑賞会「校庭に東風吹いて」のお知らせ

日時：2017年8月24日(木)10:30～ 14:00～

場所：鹿沼市民文化センター 小ホール

入場料：前売券1000円(当日1200円) 中高生500円

(当日のみ)小学生以下無料



(一社)住宅リフォーム推進協議会

全国自治体リフォーム支援制度を公開

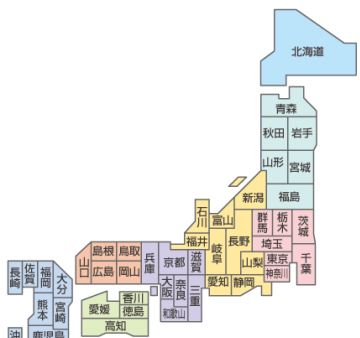
(一社)住宅リフォーム協議会は7月14日、「地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイト」の2017年度版を公開しました。

同サイトは、全国の自治体による住宅リフォーム関連の支援サイトや、都道府県あるいは市区町村単位や、「耐震化」「省エネルギー化」「バリアフリー化」といったリフォーム内容から検索することが可能です。

検索結果には、対象工事や補助対象費用、補助率、対象住宅の要件などが表示されるほか、各自治体の担当部署と問い合わせ先が示されています。

○お住まいの市区町村から探す
(地図をクリック)

都道府県をクリックすると市区町村ごとの支援制度が検索できます。



○制度内容で探す

※未選択の場合は、すべての条件が抽出されます。

支援分類

- ①耐震化
- ②バリアフリー化
- ③省エネルギー化
- ④環境対策
- ⑤防災対策
- ⑥高齢対応
- その他

支援方法

- ①補助
- ②融資
- ③利子補給
- ④専門家等派遣
- ⑤その他

都道府県 都道府県

検索

| | 鹿沼市 | 日光市 | 高崎市 |
|-------|--------|------------------------|--------|
| 対象工事 | 20万円以上 | 10万円以上 | 20万円以上 |
| 助成率 | 5% | 10% | 30% |
| 上限 | 10万円 | 15万円 | 20万円 |
| その他要件 | | 3世代・75歳以上との同居世帯は上限20万円 | |
| 回数 | 1回限り | 予算の範囲内で複数回可能 | 1回限り |

早速データを取りだしてみました。全国で見ると鹿沼市は最低のレベルです。

日本共産党は住宅リフォームの充実をめざしています。助成の経済効果も大きく、日光市では26.5倍と発表しています。

地域を回ってみますと、このリフォーム助成を知らない方がたくさんいらっしゃいます。また「どこに相談したら良いかわからない」の声もあります。相談ご希望の方は最寄りの担当にお声掛けください。



読者投稿 Yさん

追悼、大心道雄和尚

シルエットとして、それらしく見えるということだけだが、木の梢に仏を見出すことがある。

といっても、いつも不変にそこに存在しているわけでないので、自然の造形なのか、心の持ちようが作用しているのかは、わからない。

先日、上粕尾の東光寺の住職の法事に行った。彼方の青い空を背に濃緑の森の頂に、いくつもの仏が見えた。一瞬にして感じたことは、住職もこの仏を励みにして生きたのかもしれない。

掃除の行き届いた寺、きれいに整えられた境内、山寺を維持するのは並み大抵な努力ではなかったろう。

田舎のことなので、うるさい檀家もいた

ろうに、孤軍奮闘の日々を想う。住職がいて、どんなにみんな助かったことか。ありがたいことじゃないか。思い出、感謝、祈り、様々な人々の念が、仏を具現させるのかもしれない。

他人に仏が見えるかはわからないが、少なくとも僕はそう思うことがある。

合掌

◇東光寺の大心道雄和尚は2017年7月15日にお亡くなりになりました。生前、鹿沼九条の会に加入、又横根高原のメガソーラー反対の表明もされました。

生活保護受給世帯2カ月ぶり増

厚生労働省は2日、5月に生活保護を受給した世帯が前月より2153世帯多い163万9558世帯となり、2カ月ぶりに増加に転じたことと発表しました。高齢者世帯の需給が増えたことなどが要因と見られます。